

(仮称)二見図書館整備計画(素案)

2024年(令和6年)3月

政策局 シティセールス推進室 本のまち推進課

目次

1 はじめに	1
2 現状と課題	1
3 整備予定地	1
4 施設の現況	2
5 図書館整備方針	2
6 レイアウト	4
7 事業費等(概算)	4
8 事業スケジュール	5

1 はじめに

本市では、「いつでも、どこでも、だれでも、手を伸ばせば本に届くまち」を目指して、「本のまちづくり」を推進しています。その「本のまちづくり」の拠点となる図書館を市内全域に均衡に整備し、図書館サービスを広く市民に提供できるようにするため、図書館が未整備である西明石、大久保、二見の3地区への整備に向けて取り組んでいます。そのうち、本計画は二見地区における図書館整備を進めるために策定するものです。

2 現状と課題

(1)現 状

本市が掲げる「本のまちづくり」を推進するためには、障害の有無や年齢等に関わらず、だれもが読書を諦めず、本に親しみ、楽しむことができるような環境(読書バリアフリー)の整備が必要だと考えています。

これまでの読書バリアフリーに向けたソフト面での取組を継続するとともに、官民連携での図書館の整備や新たに設置される複合施設への図書館の整備などハード面での取組も併せて、ソフト及びハード両面から、「本のまちづくり」のさらなる推進に向けた取組を行っています。

(2)課 題

現在、本市には図書館が2館設置されていますが、2019年度(令和元年度)に実施した「本のまちアンケート」では、約3割の市民の方が図書館を「あまり利用していない」と回答しており、その理由として、「図書館が近くにない」が約5割、「時間が合わない」が約2割となっており、もっと身近な場所に図書館があれば利用される状況にあるとの結果が出ていました。

このことを踏まえて、「本のまちづくり」を推進する本市としまして、市内を大きく分けた5地区(明石、西明石、大久保、魚住、二見)のうち、図書館が未整備である西明石、大久保、二見の3地区への整備が必要であると考えています。

このうち、二見地区は市域の西端に位置することから、市内にある2図書館へのアクセスがしにくく、地理的に図書館を利用しにくい地区となっています。

3 整備予定地

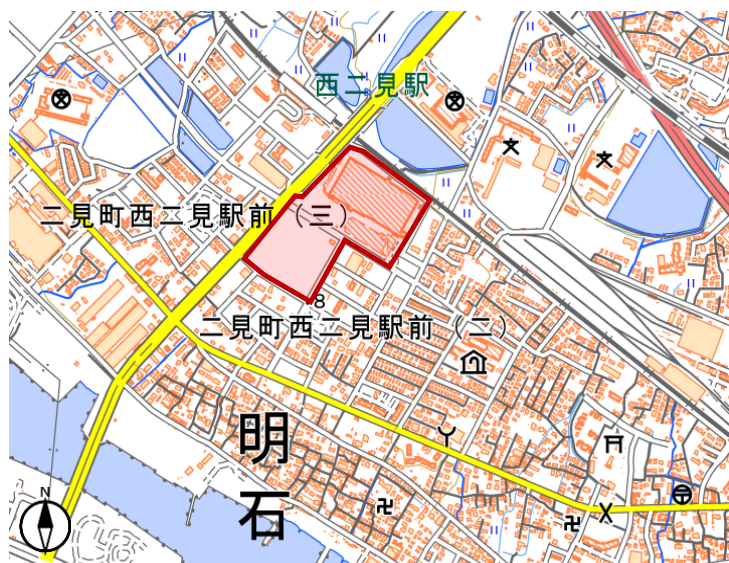
(1)現況(イトーヨーカドー明石店、所在地:明石市二見町西二見駅前1-18)

整備予定地であるイトーヨーカドー明石店は、山陽電鉄西二見駅から徒歩約5分、コミュニティバス(たこバス)のステーションが隣接し、明姫幹線からも近く、アクセス良好な場所に立地しています。

また、約1,500台の無料駐車場を完備しており、電車、コミュニティバス、自動車等の様々な交通手段で行き来できる利便性の高い大型商業施設となっています。

当該予定地は、利便性が高く、人々が日々の生活の中で利用する施設であることから、図書館を整備すれば、買い物のついでに「図書館」に気軽にぶらりと立ち寄ることができ、人々の暮らしの中に自然と「本」が溶け込むことができる、すべての世代の方が「本」と出会うことができる最適の場所であると言えます。

(2)位置図 ※赤太線枠内が予定地



整備予定地周辺図



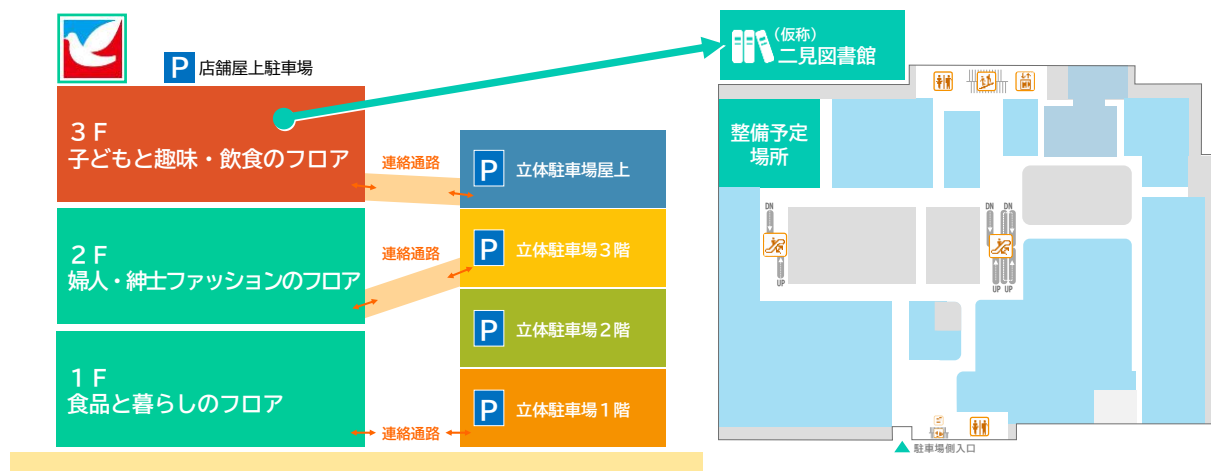
店舗・駐車場配置図

4 施設の現況

イトーヨーカドー明石店 フloor図(1F~3F 及び3F 平面図)

※年中無休・営業時間9時~21時(一部店舗により異なります。)

※今後の改装計画などに合わせて配置に変更の可能性あり。



5 図書館整備方針

「本のまちづくり」を推進するため、市民の皆さんが、さらに身近な所で本を手にとることが出来るよう、図書館の整備に取り組んでいます。

多様な利用者が想定される商業施設内への本図書館の整備に際しては、子どもが利用しやすい高さの書架なども配置します。小規模なため、蔵書数は多くないものの、幅広い分野の蔵書と居心地の良さ、使いやすさ、楽しさなど、空間の雰囲気も十分考慮した、気軽に立ち寄り、少しゆったりと過ごせる図書館の整備を目指します。

(1)コンセプト

誰もが買い物ついでに気軽に立ち寄りたくなるコンパクトな図書館
～親子で、家族で、仲間と、お一人様も、ゆったり和むひととき～

(2)特 色

- ①絵本や小説など一部区別するものもありますが、一般書や児童書などを書架ごとで区別せず、同じ分類の一般書と児童書を書架の上下段で配架するなど、子どもも大人も一緒に「本」を選び、楽しめる混合配架型※¹による書架の設置
- ②児童書エリアでは子どもがワクワクするような空間を、雑誌や新聞などのエリアでは寛げる空間を、何より子どもから大人までが一緒に本(図書)を選び、読んで、楽しい時間が過ごせる空間の創出
- ③海に近い商業施設内に設置することから、明石の海を知る展示や日常の暮らしに役立つ展示など、身近な「知りたい」、「知りたくなる」ことをテーマにしなが、様々な本と出会えるよう、可変・可動式展示架の特設コーナーを設置

※¹「混合配架型」とは、同一分類の図書を、書架の上段には大人用を下段には子ども用を配架するなど、配架の方法に工夫を加えたものを指しています。

(3)機 能

小規模な施設となりますが、本の貸出、返却、予約図書の受取り、レファレンス等の基本的な図書館機能を有したものとします。

(4)想定される利用者

平日は高齢の方や主婦の方、学生、週末は子ども連れの家族や若者など、当該商業施設を利用される幅広い世代の利用が想定されます。

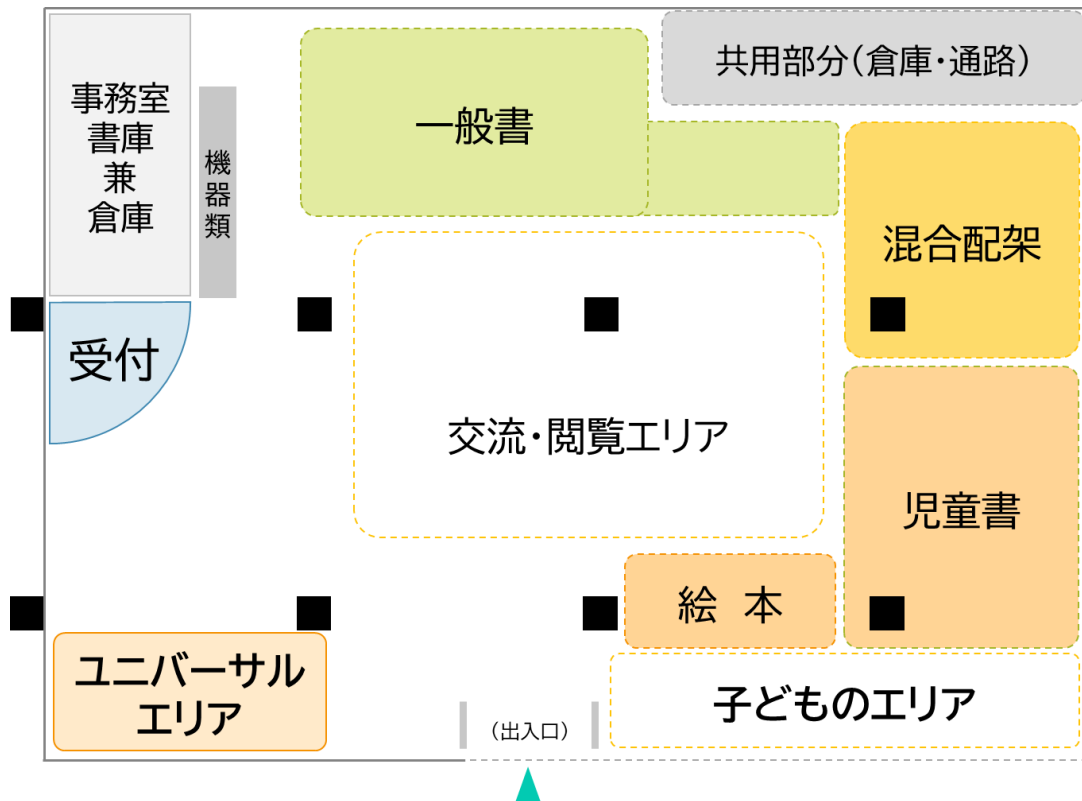
(5)位置づけ

(仮称)二見図書館は、子どもから大人までが寛ぎ、楽しめる、児童書と一般書の両方を所蔵する図書館施設として整備する予定です。

(6)施設概要

項 目	概 要
① 面 積	576.88㎡
② 蔵 書 数	最大30,000冊(開館時は約15,000冊)
③ 座席数(閲覧席)	約80席
④ 開館時間等	・開館時間:9時00分～21時00分の間で調整 ・休館日:毎月第3火曜日(館内整理日) 年末年始(12/29～1/3) 長期整理日(4月～6月の間で連続した10日以内) ※開館時間等については調整中
⑤ 運営体制	指定管理者による管理・運営(予定)

6 レイアウト



7 事業費等(概算)

種 別	内 容	金額(概算)
イニシャルコスト	書架・機器等備品(設置費含)	75,000,000円
	図書館関連システム	32,000,000円
	設計及び工事・サイン表示等	69,000,000円
	図書費	71,000,000円
	合 計	247,000,000円
ランニングコスト	人件費・施設管理費等	80,000,000円

8 事業スケジュール

日 程	内 容
2024年(令和6年) 3月	総務常任委員会報告 (仮称)二見図書館整備計画素案
4月	パブリックコメントの実施 二見地区での地域説明会の開催
6月	補正予算議案((仮称)二見図書館整備費)の提出 明石市立図書館条例改正議案の提出 総務常任委員会報告((仮称)二見図書館整備計画(案))
7月～	設計・工事
12月	補正予算議案((仮称)二見図書館運営費)の提出 (仮称)二見図書館の指定管理者指定議案の提出(予定)
2025年(令和7年) 春頃	(仮称)二見図書館のオープン